

# 聴覚障がい者等への確実な災害情報伝達（愛媛県宇和島市）

## 取組概要

愛媛県宇和島市では、災害等が発生した際、聴覚の衰えや障がい等による情報弱者に対してきめ細かく、確実に防災情報が行き渡るよう、携帯通信網を活用したテレビを自動起動させるシステム(テレビ・プッシュシステム)を活用しています。このシステムにより「音声」だけでなく、「視覚的」な情報伝達の手段が充実します。また、情報の双方向化によって発信情報の認知状況を把握することができます。

人口 76,544人 (H30.4.1現在)

担当 総務部 危機管理課

## 取組の効果

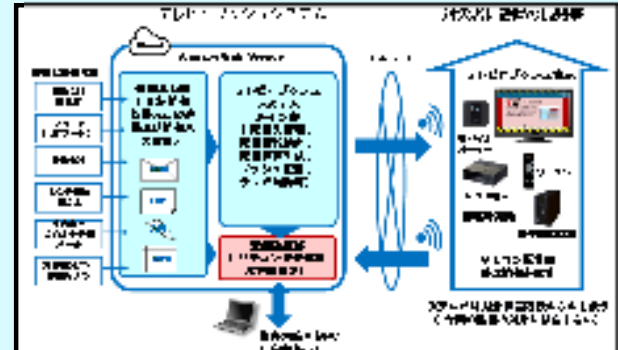
- 日常的に最も利用されているテレビを使っているので・・・
- ①他の情報伝達手段よりも防災情報の受信に気づきやすい
  - ②簡単な操作で受信を確認でき、その確認状況を職員が把握できる
  - ③行政情報など日常的な情報を配信することで、平常時にも利用される  
→災害情報の伝達を確実にいき、また情報不達者の絞り込みができる。

## 創意・工夫した点

- ・あらゆる世代で日常的に利用されるテレビを活用。
- ・状況やエリアごとに必要な情報を、対象を絞って重点的に伝達できる。
- ・利用を習慣化し、基本的に操作をしなくても情報を得ることができる。

## 他団体へのアドバイス

本システムは、各自治体で導入済みのサーバ、ネットワーク機器や既存システムに依存することなく連携が可能であり、総合的にランニングコストを抑えることもできます。



**「テレビ・プッシュシステム」の整備**  
各対象者のテレビにIP-STB端末を接続  
→インターネット経由で防災情報をプッシュ配信



**「視覚的」な情報伝達手段の充実**  
→情報の双方向化による安否確認、避難支援  
→テレビ画面を通じた視覚的な情報伝達  
→平常時は生活に密着した日常的な情報配信